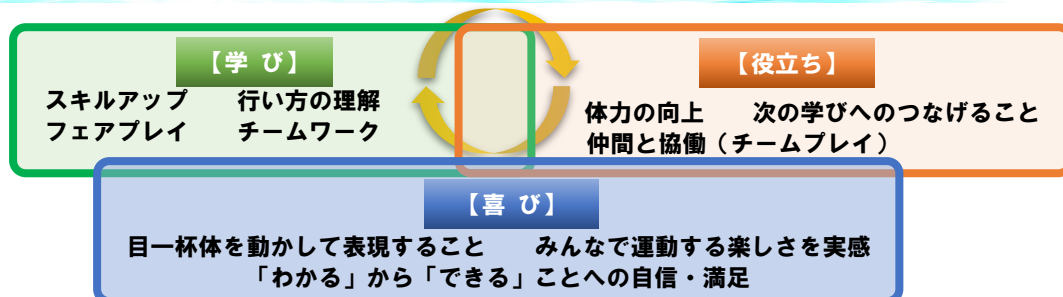


「あつまれ附属の森 探検隊」【表現遊び】(6時間)

授業者：福山 央

1 本校の体育科で目指す「価値」



2 本単元の社会的背景(現状と課題)

文部科学省(2018)¹⁾は、小学校学習指導要領解説体育編において、低学年の体育の内容を「〇〇の運動遊び」として示している。これは低学年の子供たちにとって、体育で学習する「運動」は、ほとんどのものが、「遊び」として現れることを示唆している。

「スポーツ」や「表現運動(ダンス)」は、遊びの要素を中心にもつ「運動」であるため、表現運動系の領域は、他の領域よりも「遊び」の要素が強い。そのため、基本的な「運動の特性」である「遊びの性質から生じる運動の楽しさ」をしっかりと味わわせることができる領域である²⁾。一方で、何かを達成したり、記録を伸ばしたりする領域とは異なり、何をを目指すのかが分かりづらいという一面があり、表現運動の指導の困難さを感じ、苦手意識をもっている教師も少なくないと考えられる。

西村(1989)³⁾は「運動遊び」が子供たちに成り立つ条件として、「遊間(間)」「遊動(動き)」「遊戯関係(安心感)」の3つを挙げている。活動中やその結果に「間(すきまやゆとり)」と「動き」と「安心感」があること、この3つが遊んでいる当人に成り立っているときに「遊び」が成立する、と述べている。西村が指摘するとおり、この「遊び」の3つの成立条件は、低学年の体育における指導の際に、教師の指導の視点として活用できると考えた。

そのため、本単元では、この「遊び」の3つの成立条件に着目し、授業を構築した。1つの題材に多様な表現がある「間(すきまやゆとり)」、複数の題材を用意し繰り返し取り組む「動き」、勝敗を決めず、多様な表現を認める「安心感」を確保しながら、「遊び」を通して「運動」に触れさせることを目指す。

小原ら(2021)⁴⁾は、身体表現遊びを通してヒトやモノとかかわり、共創することが、対象を捉え、感覚的に身体で表現する感性や創造性を育むことを示唆している。

また、鈴木(2020)⁵⁾は、小学校低学年の「表現遊び」における題材に着目し、児童が特に楽しいと感じる具体的な題材は何か、また、楽しいと感じる要素は何かを明らかにした。その結果、第1学年ではダイナミックで、ある程度運動量のある題材や展開、友達とのかかわりなどの要素に楽しさを感じていると述べている。

そこで、ダイナミックで、ある程度運動量が確保できるような身近な題材を提示し、友達と一緒に共創・協働しながら表現する活動を通して、1つの題材でも多様な表現があることが手ごかりに、気づいたり、感じとったりしたことを伝え合いながら、自己の心身を解き放って表現遊びを楽しませたいと考える。低学年で友達と一緒に表現することの楽しさに気づくことができれば、高学年となり、思春期の入り口に差ししかかっても、進んで表現運動に取り組める子になるのではないかと考える。

3 本単元で目指す「価値」



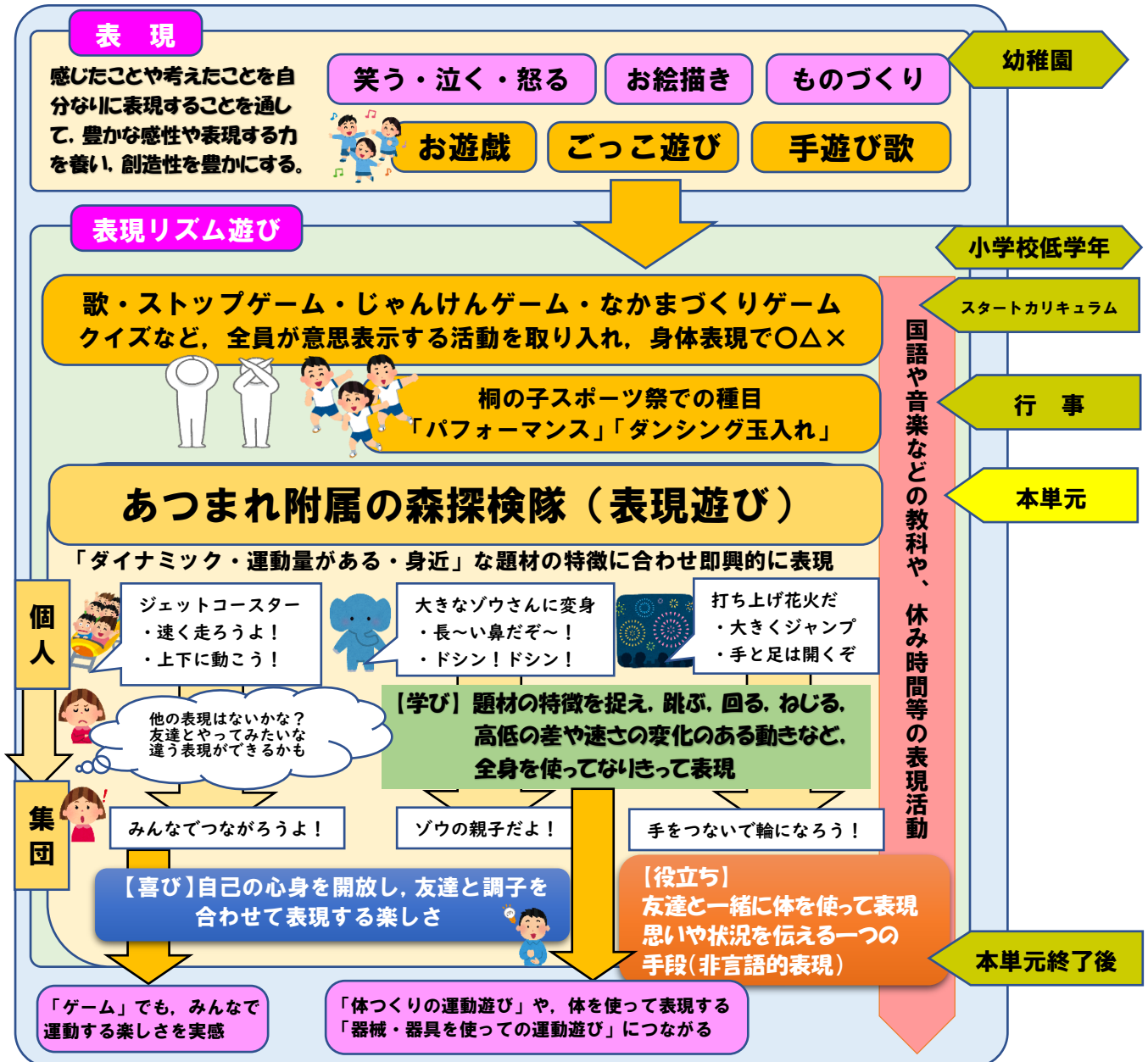
4 研究仮説

上記の「価値」に向かうために、子供たちが題材になりきり、全身の動きで表現できる学習活動を展開する。それによって、表現運動の楽しさや喜びに迫ることができると考え、次のとおり研究仮説を設定した。

研究
仮説

子供たちにとって身近なものや、関心が高く、具体的で特徴のある動きを多く含む題材を、チームの友達と一緒に表現する学習活動を繰り返すことによって、心と体を解き放ち、進んで表現しようとする態度を養うことができる。

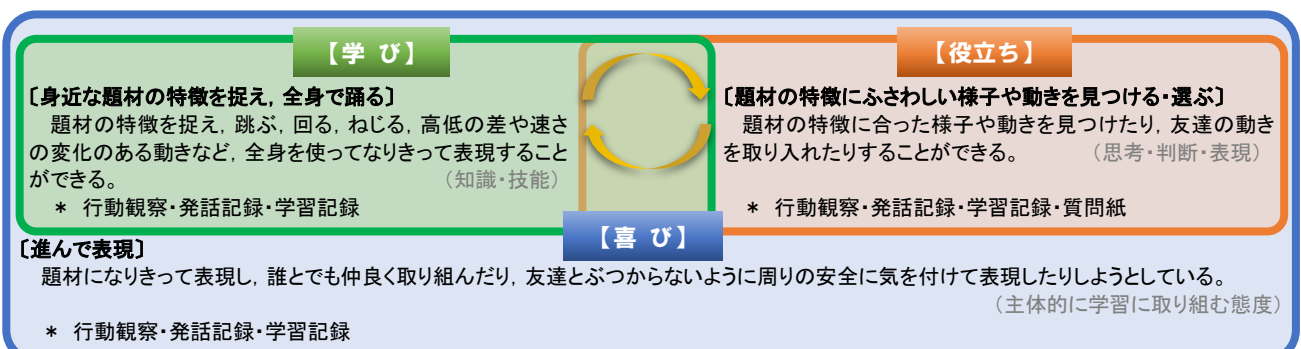
5 本単元のデザイン



6 本単元で価値をつくる子供の姿

附属の森探検隊になりきり、題材の特徴に合った動きを全身で表現したり、友達の動きを取り入れたりすることを通して、気に入った動きを見つけ、心と体を開放し、進んで表現しようとする。

7 本単元の評価規準と評価方法



注) *は評価方法、括弧内は、現行学習指導要領における観点別学習状況の評価の観点

8 本単元の構成（全6時）

本単元では、チームの友達と一緒に、題材の特徴に合った動きを全身で表現し、その楽しさや開放感を味わうことや、友達と一緒に活動することの楽しさに気づくことを目指す。

単元を通して、授業の始めに準備運動を兼ねた表現遊びや仲間づくりゲームを行い、仲間と一緒に表現しやすい雰囲気をつくる。

チームで探検隊になりきり、附属の森を探検するという場面を設定し、様々な題材を表現する活動をくり返すことを通して、気に入った動きを見つけたり、心と体を開放し、進んで表現したりすることができるようにする。

また、国語や音楽などの教科や、桐の子スポーツ祭などの行事等とも関連しながら、表現の多様性や学校生活への活用を図る。「進んで表現しよう」「表現するって楽しい」など、学びを役立て、喜びを感じる子供の育成をするため、本単元を下記のように構成する。


時	○ 学習活動と価値をつくる子供の姿	★教師の関わり	評価
※	○ スタートカリキュラムでリズム遊びやなかまづくりゲームに取り組む。 (歌・ストップゲーム・じゃんけんゲーム) ○ 桐の子スポーツ祭でパフォーマンス(ダンス)に取り組む。	★遊び方を理解していない子や、友達とうまく関われない子を中心に支援する。	新しい友達との関わり みんなと遊ぶ楽しさ リズムに合わせた踊り
1・2	○ 様々な表現遊びに触れ、学習内容を知り、楽しく表現する。 ○ 表現遊びの楽しみ方を知り、友達と一緒に楽しく表現する。	★なりきることの良さや、表現することの楽しさを味わえる表現遊びの場を設定する。	表現遊びの学習内容 表現する楽しさ
3	○ 「あつまれ附属の森探検隊」の学習内容を知り、探検カードに書かれた様々な題材の動きを即興で表現する。(個人)	★表現を引き出すことができるよう、そのものの特徴に着目する視点を示す。	表現方法の工夫 多様な表現 友達との交流・表現
4 【本時】	○ 探検隊のメンバーと一緒に、探検カードに書かれた様々な題材の動きを即興で表現する。(チーム) ○ 題材に合わせて表現し、気づいたことや感じたことを交流する。	★チームで多様な表現を引き出すことができるよう、新しい表現や、協力している表現に着目し、価値づける。	多様な表現への気づき
5・6	○ 題材を選んだり、新しく考えたりしながら、探検隊同士で題材を出し合い、即興で表現する。(チーム) ○ 題材に合わせて表現し、気づいたことや感じたことを交流する。	★チームで表現できるよう、題材の具体的な特徴を例示したり、他のチームの様子を見たりするよう促す。	よりよい表現方法 友達との交流・表現 表現する楽しさ
※	○ リズムが大切な「縄跳び」や「スキップ」などの運動に生かす。 ○ 体を使って表現する「器械・器具を使っての運動遊び」につなげる。 ○ 桐の子発表会などの行事で学習したことを活用する。	★本単元での学びを生かせるように、学習したことをふり返ったり、よりよい表現について話し合ったりする。	学習の活用

9 本時(4 / 6時)

子供たちが探検隊をつくり、友達と一緒に表現を工夫したり、一緒に表現することの楽しさを味わったりしながら、多様な表現があることに気づき、表現することへの関心を高めることを目指す。

まずは、準備運動を兼ねた表現遊びに取り組む。その後、個人で取り組んだ前時の振り返りを行い、本時に予定している、チームでの取組への見通しと期待をもたせる。チームでの活動が始まったら、多様な表現を引き出すために、チームならではの表現(揃っている・つながっている・ずれている・役割がある)等を価値づけ、話し合いが活発になったり、お気に入りの動きを見つけたりできるような場づくりを行う。

最後には「こんな動きもあるよ!」「もっと違うカード(題材)でもやってみたい」「ちがう人ともやってみたいな」といった次時への見通しと期待をもつ。

本時の目標	
題材の特徴に合った様子や動きを、友達と調子を合わせて表現したり、友達の動きを取り入れたりすることができる。	
【前時まで】 題材の特徴を捉え、自分なりに表現することができる。友達と一緒に表現することで、表現が広がり、楽しくなるのではないかと感じ始めている。	
○ 学習活動や子供の姿	★ 教師の関わり
<p>表現する楽しさ</p> <p>○ 整理</p> <p>○ 準備運動「だるまさんの1日」</p>  <p>言われたものになりきるぞ!</p> <p>○○っぼく見えるには、どうすればいいのかな?</p> <p>友達の動きをマネしてみたいな。</p>	<p>★ 子供たちが授業に入り込むために、これまでに学習した簡単な表現遊びを行い、表現しやすい雰囲気づくりを促す。</p>
<p>新しい表現への期待</p> <p>○ 前時の振り返り(個人で取り組んだ「附属の森探検隊」)</p> <p>いろんなものになりきることができたよ!</p> <p>難しくて、うまくできなかったな…。どうしよう。</p> <p>とっても楽しかったけど、みんなでやったらもっと楽しそう!</p> <p style="text-align: center;">みんなと一緒に探検に出発だ!</p>	<p>★ これまでの学習を振り返って本時の活動の見通しをもつことができるよう、前時までの題材を掲示し、チームで取り組むと表現がもっと広がることに気づかせる。</p>
<p>友達と一緒に表現</p> <p>○ 前時に行った題材「飛行機」「カメ」「花火」に友達と一緒に取り組む。</p> <p>手をつなげば大きな飛行機になるね!</p> <p>カメはどうしよう? 甲羅になってみたり、浦島太郎をやったりしてもいいね!</p> <p>みんなでしゃがんで、一緒にジャンプしたら花火に見えるんじゃないかな?</p>	<p>★ チームで多様な表現を引き出すことができるよう、新しい表現や、協力している表現に着目し、価値づける。</p>
<p>○ 新しい題材「イモムシ」「バイク」「ロボット」に友達と一緒に取り組む。</p> <p>大きいイモムシは、飛行機の時と同じで、つながればいいんじゃないかな?</p> <p>バイクはみんなでレースをしよう! 事故がないように気を付けて!</p> <p>ロボットはどう動けばいいかな? 周りを見てみよう。</p> <p style="background-color: #f4a460; padding: 5px;">題材の特徴にふさわしい様子や動きを見つける 題材の特徴に合った様子や動きを、友達と調子を合わせて表現したり、友達の動きを取り入れたいことができる。(行動観察・発話記録)</p>	<p>★ 友達と一緒に表現できないチームには、前時を思い出したり、他のチームの様子を見たりするよう促す。</p> <p>★ 新しい表現を引き出すことができるよう、場面の転換を入れてながら、特徴を捉えて表現できるよう支援する。</p>
<p>多様な表現への気づき</p> <p>○ 探検隊会議(いいところ・難しかったこと・上手な人などを伝え合う)</p> <p>○ 振り返り</p> <p>○○さんが上手だった。</p> <p>みんなとやった方が楽しかった!</p> <p>みんなと一緒にだらうまくできた。</p> <p>他のチームの動きを見てみたい。</p> <p>○ 次時へ向けて</p> <p>またやりたい!</p> <p>他のものにも変身したい!</p> <p>自分達でも変身するものを考えたい。</p> <p>違う子と一緒にやってみたい!</p>	<p>★ 子供たちの考えが可視化できるよう、短いキーワードでまとめる。</p>

i 文部科学省(2018) 小学校学習指導要領(平成29年度告示) 解説体育科編, 東洋館出版社.

ii 白旗和也(2016) 小学校体育これだけは知っておきたい「低学年指導」の基本, 東洋館出版社.

iii 西村清和(1989) 遊びの現象学, 勁草書房.

iv 小原幹代・本山益子・杉浦慶子(2021) 身体表現遊びを積み重ねることの意味, 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学, 研究紀要 54, 19-28.

v 鈴木純(2020) 小学校低学年「表現遊び」における題材の検討—児童の視点から具体的な題材について考察する—東北文教大学・東北文教大学短期大学部教育研究, EDUCATIONAL RESERACH OF TOHOKU BUNKYO COLLEGE TOHOKU BUNKYO JUNIOR COLLEGE 10, 51-65.